

1 薬物事犯の検挙状況（括弧内は暴力団構成員等の検挙人員）【県内】

	R 3			R 4			R 5			R 6			R 7.3		
	件数	人員	割合	件数	人員	割合	件数	人員	割合	件数	人員	割合	件数	人員	割合
覚醒剤事犯	31	25(6)	36.8%	31	25(6)	39.7%	23	13(4)	23.2%	39	27(5)	34.6%	13	10(2)	52.6%
大麻事犯	46	39(1)	57.4%	45	35(1)	55.6%	50	39(1)	69.6%	57	48(3)	61.5%	14	8(0)	42.1%
麻薬及び 向精神薬事犯	5	4(0)	5.9%	2	3(0)	4.8%	7	4(0)	7.1%	9	3(0)	3.8%	2	1(0)	5.3%
合計	82	68(7)	—	78	63(7)	—	80	56(5)	—	105	78(8)	—	29	19(2)	—

2 大麻事犯の年代別検挙人員【県内】

【SNSでの広報】

	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7.3
10歳代	9	4	8	5	1
20歳代	19	18	23	28	6
30歳代	1	3	6	8	1
40歳代	7	4	1	5	0
50歳代～	3	6	1	2	0
合計	39	35	39	48	8
20歳代以下の比率	71.8%	62.9%	79.5%	68.8%	87.5%



3 薬物乱用防止施策

- (1) 小学校、中学校、高校等を対象とした薬物乱用防止教室の実施
- (2) SNS等の各種媒体を活用した薬物乱用防止広報の実施
- (3) スクールサポーターに対する薬物乱用状況や薬物に関する教養を実施
- (4) 大学生少年サポーターによる薬物乱用防止活動
- (5) 薬物乱用防止及び再犯防止支援パンフレットの配布
- (6) 関係機関との連携
 - ・ 6・26ヤング街頭キャンペーンへの参加
 - ・ 水際対策会議における情報共有



【薬物乱用防止パンフレット】

【大学生少年サポーター】



薬物乱用防止対策に貢献した団体として表彰

【薬物乱用防止教室】



【スクールサポーターへの教養】

